

株式会社石山化成工業所

2023年度環境経営レポート

(対象期間：2023 年8月1日 ～ 2024 年7月31日)



作成日： 2024年9月11日

環 境 方 針

株式会社石山化成工業所は、プラスチック製造業者として急速に進む地球温暖化や資源の枯渇などの環境問題を経営の重要課題と認識し、環境負荷の低減に向けた取り組みや様々な環境保全活動に全員参加で自主的・積極的・継続的に取り組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 電力及び自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 資源を大切にするとともに廃棄物の削減に努めます。
4. 水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した物品の購入を推進します。
6. 高品質なモノづくりを通じて環境負荷の削減に貢献します。
7. エコ活動を通じて明るく活気のある職場づくりを推進します。

制定日： 2016年9月17日

代表取締役社長 石山 佳英

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社石山化成工業所

代表取締役社長 石山 佳英

(2) 所在地

本社工場 大阪府松原市天美北5丁目10番18号

第2工場 大阪府松原市天美北8丁目4番28号

資材倉庫 大阪府松原市天美北5丁目1番14号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 石山 雅信 TEL: 072-335-7755

担当者 専務取締役 兼任 石山 雅信 TEL: 072-335-7755

(4) 事業内容

プラスチック製容器の企画・製造販売

主要製品:化粧品、洗剤、薬品、雑貨等容器

(5) 事業の規模

製品出荷額 2.8 億円

	本社	第2工場	資材倉庫			合計
従業員	31	5	無人			36
延べ床面積	231	571	300			1102

(6) 事業年度 8月1日～7月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名: 株式会社石山化成工業所

対象事業所: 本社工場

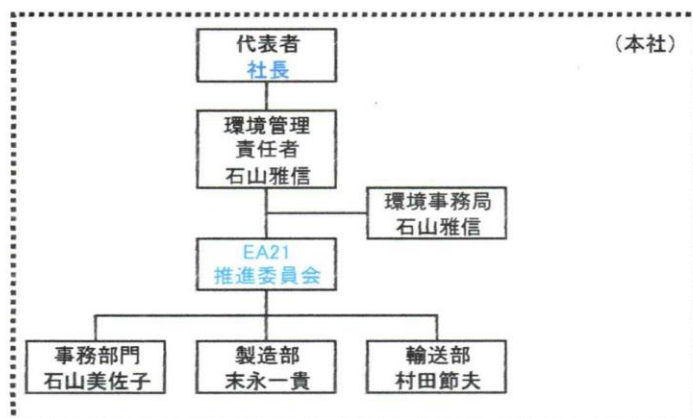
第2工場

資材倉庫

対象外: なし

活動: プラスチック製容器の企画・製造販売

株式会社石山化成工業所 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA21推進委員会	・環境活動計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	431,018	367,314	424,144
廃棄物排出量	kg	7,727	9,833	12,704
一般廃棄物排出量	kg	4,057	3,683	4,914
産業廃棄物排出量	kg	3,670	6,150	7,790
総排水量	m ³	984	826	966

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.454 kg-CO₂/kWh

※産業廃棄物排出量は全て廃プラスチック（有価）の値

□環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		基準値 (基準年度)	2023年		2024年 (目標)	2025年 (目標)
			上段:通年			
			(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	399,775	395,777	402,905	391,779	387,781
	基準年比	2016年	99%	101%	98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	22,992	22,762	21,239	22,532	22,302
	基準年比	2016年	99%	92%	98%	97%
上記二酸化炭素排出量	kg-CO2	422,767	418,539	424,144	414,311	410,084
一般廃棄物の削減	kg	3,285	3,252	4,914	2,628	2,300
	基準年比	2016年	99%	150%	80%	70%
廃プラの削減（全量有価売却）	kg	3,380	3,312	7,790	3,245	3,177
	基準年比	2016年	98%	230%	96%	94%
水道水の削減	m ³	1,102	1,091	966	1,080	1,069
	基準年比	2015年	99%	88%	98%	97%
クレーム・返品件数の削減			0	9	0	0
課題を解決しチャンスを活かす取組		実態調査中	－	0		

※化学物質は取り扱っておりません。

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

活動:○よくできた △さらに取組が必要 ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	×	コロナ禍や物価高の影響で過去数年売上が伸び悩んでいたが、今期は新規引き合いで生産量が増加したことで電力使用量が増え、目標未達成となった。
・電力不要時には負荷遮断、変圧器の遮断をする	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	
・ヒーター類の保温対策	○	
・デマンド管理（最大値を記入）	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	○	従来通りチェック項目を意識した運転を心掛けている。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・タイヤ空気圧を定期的に適性値	○	
一般廃棄物の削減		
数値目標	×	分別を徹底し、一般廃棄物の削減を心掛ける。
・分別の徹底	○	
・リサイクル事業者を探す	○	
・梱包材の再利用	○	
・3S活動の推進	○	
廃プラの削減（全量有価売却）		
数値目標	×	年々品質の厳格化により歩留率が低くなっている。 チェック項目を意識して作業にかかるよう指導する。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・廃プラの管理（量、金額を記入）	○	
・3S活動の推進	○	
水道水の削減		
数値目標	○	今後も水道水のデータを注視していく。
・節水シールの貼り付けとポスター掲	○	
・冷却水タンクの清掃、冷却水入替	○	
・チラーのフィルター点検	○	
クレーム・返品件数の削減		
数値目標	×	ライン担当者によるミス。その都度標示物を掲示し担当者に指導して改善を図っている。
・致命欠点对策	○	
・オペレーターの最終確認対策	○	
課題を解決しチャンスを活かす取組		
数値目標		0
・新規取引引き合い回数の記録	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物
騒音・振動規制法	空圧機、射出成形機
フロン排出抑制法	空調機、チラー、空圧機
消防法	防火壁、消火設備、合成樹脂（3 t 以上）

「2016/12に消防署より届出等指導を受けましたが、すべて対応済みです。その他の違反、訴訟等はこれまでありませんでした。」

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生

■実施日：2023年9月4日	■実施場所：第一工場内
■参加者：全員	
■実施内容： ☐ 通報訓練 ☐ 消火訓練 ☐ 避難訓練 火災対応手順書の読み合わせを実施し、消火器の設置場所を確認した。	
■評価： 手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	

□代表者による全体の評価と見直し

実施日 2024年8月30日

【前回の指示への取組結果】
【総括】 環境に配慮した会社運営を続けていくことが当たり前になり、社員全員が意識の共有をしている。物価高、円安、消費低迷により業績はおもわしくないが地道な努力の積み重ねが会社経営に反映され、他企業に環境に配慮した会社であることを認知していただけるよう活動していく。 代表取締役 石山 佳英

環境経営方針 ☒変更なし ☐変更あり
 環境経営目標・計画 ☒変更なし ☐変更あり 実績を踏まえて見直す
 実施体制 ☒変更なし ☐変更あり

□環境経営活動の紹介

2015年、夏場の工場内室温を下げる為に、機械設備に排熱排気ダクト工事をしました。

